

秩父病院研修感想文

日本医科大学武蔵小杉病院

I.M.

まず初めに、理事長先生をはじめ、大野先生、山田先生、その他研修を支えてくださったコメディカルの方々に感謝申し上げます。慣れない環境で緊張している中、秩父病院の方々が気付き、話しかけてくださり何度も助けて頂きました。仕事面以外においても、秩父のおすすめのお店やスポットを紹介して頂きました。このような温かみのある職場で研修できたことを幸いに存じます。

秩父病院での研修で一番印象に残っているのは外科外来研修です。日本医科大学の先輩方から秩父病院での研修では手技をできる機会が多く、また1人で診療を任せて頂ける機会が多いと聞き将来形成外科を志望するということもあり、今回秩父病院を選択いたしました。実際に、この1カ月で、これまでの研修期間で経験した症例よりもたくさんの方の縫合をさせて頂きました。1人で初めから最後まで縫合方法や治療方針、その後のフォロー方法について考える機会はこれまでにあまり経験しておらず、試行錯誤を繰り返しながら症例を経験することで、自分自身で考える力が身につきました。大学病院の研修では救急の初期対応や入院患者の管理をすることはあっても、初診から継続して外来患者さんを診る経験はほとんどなく、とても貴重な経験となりました。先生方は私たちに外来を任せると同時に、常に陰から見守ってくださり、困っている際には的確なアドバイスやヒントを下さり大変勉強になりました。形成外科に入局を決めてはおりますが、先生方のように、専門性を極めていくと同時に、幅広く診療に携われるような医師になれるよう精進してまいりたいと思います。

外来研修のみならず、手術症例もたくさん経験させて頂きました。私が初診でみた粉瘤の患者さんの執刀医を担当させて頂いたことはこの秩父研修で一番の思い出です。また、秩父病院では先生方が手術のみならず、麻酔導入から覚醒まで担当されており、大学病院では見ることのない光景でありとても印象的でした。

この1か月間に秩父病院で学んだことを糧に、これからの研修医生活や医師生活に励んで参りたいと思います。1か月間大変お世話になりました。